

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態(講義・演習・実験等)の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導(院) 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導(専院)
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価(評価方法・評価基準の明示) 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 指導教員による履修・研究指導の徹底	→履修相談期間設定・実施の有無、論文の中間発表・論文作成指導の回数	B	B	B		
2. シラバスと授業内容の整合化	→シラバスと授業内容の整合性に関する授業評価の有無、結果分析の有無	B	B	B		
3. 成績評価の厳格化	→成績評価基準の公開の有無	B	B	B		
4. 学生による授業評価を踏まえたカリキュラム改革	→学生による授業評価結果を踏まえた改革の有無	A	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	大学院の学生組織である院生会に対して定期的にヒアリングを行い、研究演習を通じた指導体制の状況につき検証している。年度末の2月には、大学院生の研究促進のため「研究成果発表会」を、前期・後期課程全員の学生を対象に開催している。また、指導教員以外に副指導教員を設けており、研究指導を促進している。
目標2	シラバスは全科目に課している。シラバスに記載する項目としては、「授業の目的」、「授業内容および授業方法」、「成績評価方法および基準」、「学生による授業評価の実施」を設けている。
☆ 目標3	シラバスで成績評価の方法を明記するよう、大学院研究科委員会にて授業担当者に周知している。
目標4	「学生による授業に関するアンケート」を実施し、学生からの授業評価を受けている。また学生への面談、ヒアリングを通じてカリキュラム改革の原案を作成し、研究科委員で審議の上、決定している。
備考	